

JRを使っ ての デモストレーション

吉村 春美

4月10に南熊本で牛乳パックキャンペーンがありました。労働センターも8名で参加しました。

その日、天気も良かったのでふだん私たちはJRにはあまり乗らないので、デモストレーションを兼ねて、JRを利用しました。それで、東海学園前から乗りましたが、ホームに行く前に5~6段階があり、電動車椅子では上がれなくて、通りがかりの人や近くにいた大学生に手伝ってもらって乗りました。私は電車の座席のところに入るかと思ったけど中が思ったより狭く、出入り口にいるのがやっとなりました。私は、もうちょっと座席と座席の通路の所が狭く感じたので、もうちょっと広がったらいいなあとおもいました。それから、電車から下ろしてもらう時はスリルがありすぎて怖かったです。

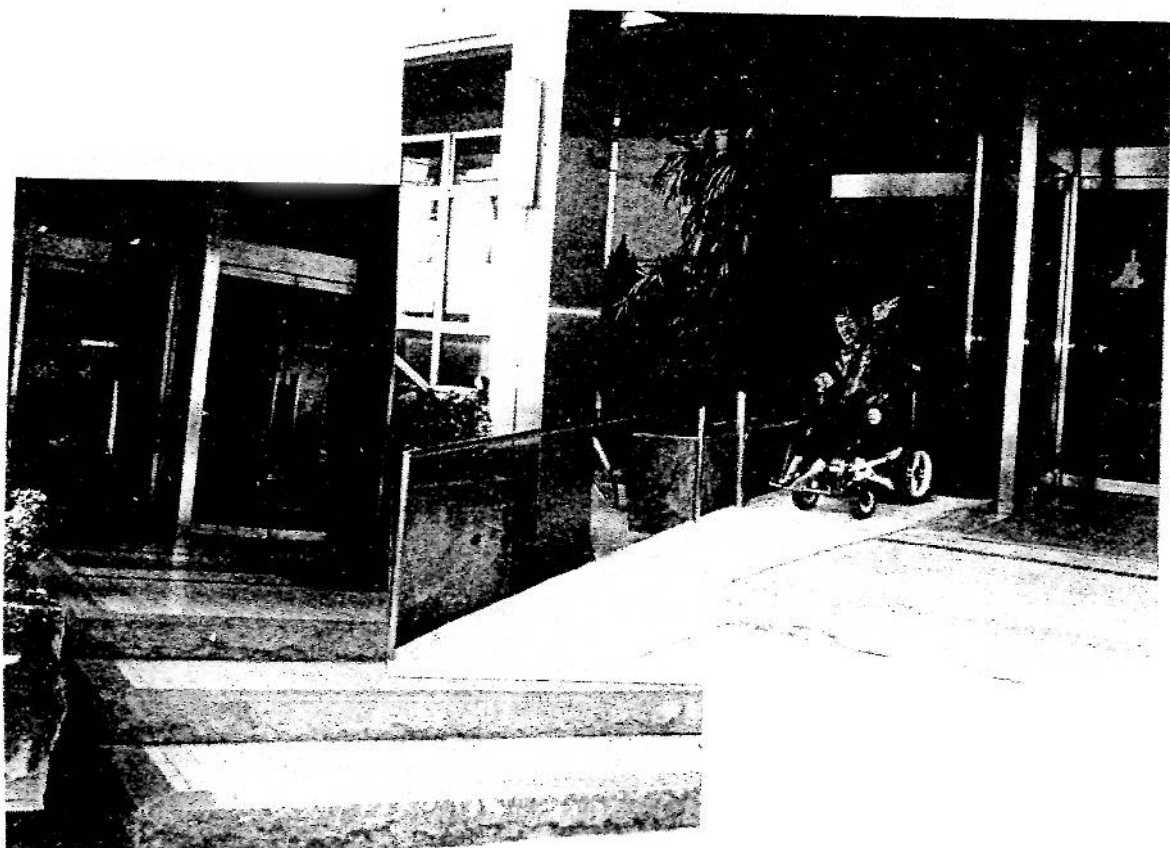
南熊本について、改札口の所からホームに行く時に駅員の人に頼んだけど人数が少ないとか何とか色々理由をつけられて、結局手伝ってもらえなくて、私たちは回り道を通って行きました。その道は、ぬかるんでいて砂利道だったので体のバランスが取りにくく私にとっては、とても行きにくくて怖かったです。それで私がJRに乗って思ったことは、最近JRではスピードアップに力を入れているけど、階段のところはスロープをつけたり身障者用トイレを作ったりして、障害者も健常者も使いやすくなればいいと思います。でも私たち障害者がJRを利用しないとJRは変わっていかないと思いました。それと町が私たち障害者に対して配慮してないのでちょっと考えてほしいと思いました。でも、花見はとても楽しかったです。



スロープが付きました

九品寺にある「熊本県労働会館」の正面玄関にスロープが付きました。以前2月に労働センターの久島さんが電動車椅子で労働会館に出かけたとき、スロープが付いていなかったため、「県総評」の上司の方々が、5人程で久島さんを抱えられました。実は、電動車椅子と久島さんの体重で、100キロ以上あるのです。県総評の方が、これは重くて大変だ。男性がいる時はいいけど、女性だけのときは困るね。という話が出て、久島さんが、ここは労働会館だから車椅子で働いている人もいるから、スロープを付けるべきですよ、それに電動車椅子の方が一人で外出できるし、行動範囲が広がるからいいですよ。と話した。その他、県総評の方が、頭では段差を無くさんといけないと思うけど、実際に車椅子の方が来てもらわんと、なかなか分からんし。という話で、すぐにスロープを取り付けることとなりました。「ということで4月にスロープ取り付け完成」めでたし、めでたし。(ちなみに労働会館は熊本県の建物なのに、県からの助成金は出なかったそうです。)?

証拠写真を提出します。 「影の声・次は労働会館のトイレだ…」
スロープ取り付け前 取り付け後



アースウィークの感想

平島浩美

4月18日～4月25日の8日間、地球環境を考えるアースウィークに参加しました。18日(パルコパーキングホール)のオープニングで幕を開けました。牛乳パックの家で屋根の部分を補正し、10時まで大変でした。昼頃子供達が楽しく遊んでいて、大喜びでした。労働センターの隣では、共生社の人達による石鮎人形劇を楽しんでいてとてもおもしろかったです。23日(新市街)環境とパネル展を見に行きました。初め目に止まったのは、川辺川体験のことや、酸性雨のことや、江津湖の水辺動物園の写真や図で紹介したり、自然の素晴らしさにじっと見つめました。当日、25日(秋津レクタウン)アースウィークの最終日、生き生きフェスタに販売と小物作り講習会を兼ねて11～始めました。個人学習診断テストを考える会の寸劇は、CMの歌をもじって大笑いでした。昼食を食べてからいろいろ見て回りました。2時から希望荘わがままチンパンジーによるコンサートを、途中手話で歌うところを歌いました。フェスタの時は、日が強かったし暑い天気で3時30で終わりました。アースウィークを終えて、4月22日はアースデーでしたが、地球破壊は無くなってしまおうし、この素晴らしいきれいな環境の町にしていきたいと思いません。

電動車椅子からの転落

先日、熊本市民会館でJ・WALKのコンサートを聞きにいきました。コンサートは、最初から最後まで盛り上がり、乗りに乗りまくっていました。昨年、ハウンドドックのコンサートに行ったときは、電動車椅子だからと言う事で一番後ろの方で聞いていましたが、その理由がおかしかったのです。会場整備の人から「ハウンドドックの曲はみんな乗るから危ないので、後ろの方で聞いてください、と言われ一瞬ムカッと来ましたが、しょうがないかあと思い、しかたなく聞いていました。

今度のコンサートは、最初は最高方の横の方で聞いていましたが、始まったと同時にみんな立ち上がったので、全く顔が見えなかったのですが、係員の人が「前の方に行っても良いですよ。」と言われて喜んで最前列に行つて楽しみました。コンサートも終り、電動車椅子で部屋まで帰っていたのですが、途中道を間違えて全く知らない道路に出てしまい、歩道を通っていたのですが、まさかその歩道が途中で切れていると言う事に気付かず、段差から車椅子ごと車道に倒れて顔からまともにコンクリートにダイビングしてしまい、首を打ってしまってムチウチになってしばらくは、痛かったです。それ以降、コントロールには、気を付けて走行しています。

終りデ～ス。

編集長

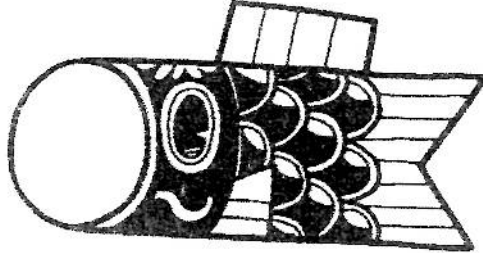
4月の日報から

4月1日	積み出し バックキャンペーン(倉田、野口) (10:00~5:00)
2日	バックキャンペーン (吉村、緒方、松井) バック回収(楠小学校) ダンボール回収(北、南支部) バックキャンペーン最終日(久島、入江)
5日	ダンボール回収(北、南、西支部)
6日	バックキャンペーン最終日(久島、入江)
7日	くまもと生協バック持ち込み
8日	積み出し
9日	バック回収(岡田コーヒー)
10日	お花見、バックキャンペーン、トレペ配り
13日	通信発送準備(封筒シール張り) ダンボール収集(東、南支部) 商品棚片付け 部屋の掃除
14日	くまもと生協バック持ち込み 営業(下山、倉田) 通信発想(久島、入江)
15日	積み出し バック家作り ワープロ打ち(久島) アースウィック実行委員会(倉田) (3:00~)
18日	アースウィック販売
20日	バック回収(向山、出水南、 益城中央小学校) ダンボール回収(東、北支部)
21日	くまもと生協バック持ち込み
22日	積み出し
23日	酒水東小学校物品販売 ダンボール回収(東支部) バック回収(合志小学校)
25日	生き生きフェスタ販売
27日	バック回収(池田小学校) ダンボール回収(北、南、東支部)
30日	バック回収(山ノ内小学校) ダンボール回収(西支部)

4月のバック回収から

4月1日	ラ イ フ ベ ル	134.7	kg
2日	楠 小 学 校	221.6	kg
6日	熊 本 商 科 大 学	2.5	kg
7日	熊 本 商 科 大 学	6	kg
8日	熊 本 商 科 大 学	5.5	kg
8日	熊 本 商 科 大 学	2.8	kg
8日	熊 本 商 科 大 学	2.4	kg
9日	熊 本 商 科 大 学	1.3	kg
9日	熊 本 商 科 大 学	9.4	kg
9日	熊 本 商 科 大 学	25.9	kg
12日	熊 本 商 科 大 学	2.8	kg
13日	熊 本 商 科 大 学	1.6	kg
14日	熊 本 商 科 大 学	7.4	kg
14日	熊 本 商 科 大 学	1.7	kg
16日	熊 本 商 科 大 学	0.7	kg
16日	熊 本 商 科 大 学	11.5	kg
16日	熊 本 商 科 大 学	25.6	kg
16日	熊 本 商 科 大 学	6.6	kg
16日	熊 本 商 科 大 学	56.3	kg
19日	熊 本 商 科 大 学	2.2	kg
19日	熊 本 商 科 大 学	10.1	kg
20日	熊 本 商 科 大 学	4.7	kg
20日	熊 本 商 科 大 学	34.2	kg
20日	熊 本 商 科 大 学	74.8	kg
20日	熊 本 商 科 大 学	42.8	kg
20日	熊 本 商 科 大 学	1.5	kg
20日	熊 本 商 科 大 学	82.6	kg
21日	熊 本 商 科 大 学	13.5	kg
21日	熊 本 商 科 大 学	70.7	kg
23日	熊 本 商 科 大 学	33.9	kg
23日	熊 本 商 科 大 学	1.8	kg
24日	熊 本 商 科 大 学	33.6	kg
26日	熊 本 商 科 大 学	2.2	kg
26日	熊 本 商 科 大 学	7	kg
26日	熊 本 商 科 大 学	0.8	kg
27日	熊 本 商 科 大 学	31.3	kg
28日	熊 本 商 科 大 学	2.2	kg
28日	熊 本 商 科 大 学	4.9	kg
30日	熊 本 商 科 大 学	107.9	kg
30日	熊 本 商 科 大 学	61.4	kg

一九八〇年五月十三日第三種郵便物認可(毎月3回1・5・10の日発行)
KAPD通巻第一九四号 発行人 熊本身体障害者団体定期刊行物協会 熊本市国府三丁目十二ノ八九(友村方)



編集後記

皆さんにはご幸甚のことと存じます。いつも牛乳バックの持ち込みやセンターで取り扱っている品物をご購入頂き誠に有り難うございます。さて、労働センターでは、皆さんの原稿をお待ちしております。何でも結構です。お気付きの事がありましたら、ご一報下さい。

編集部

〒862
熊本県熊本市保田窪本町5-29
くまもと障害者労働センター
TEL・FAX共通
096-382-0861
編集長 久島 雅樹